（全３ページ）
令和７年６月１８日

市政記者クラブ様

緑政土木局道路部道路建設課
担当　横山、大谷
TEL９７２－２８６５
（中部地方整備局記者クラブ、東海交通研究会へ同時発表）

名鉄瀬戸線（小幡駅～大森・金城学院前駅）の高架化について

～ドボクの力で地域分断を解消～

＜一般国道３０２号及び都市計画道路守山本通線と名古屋鉄道瀬戸線との立体交差事業＞

平成１１年度に事業着手して以来、約２６年の事業期間を経て、名鉄瀬戸線の小幡駅から大森・金城学院前駅付近までの区間の下り線を高架に切り替え、**７月２６日(土)の始発列車から高架での運行を開始**します。

１　事業概要

本事業は、本市・国・名鉄の共同事業として名鉄瀬戸線の小幡駅から大森・金城学院前駅付近までの約１．９ｋｍの鉄道を高架化することにより、踏切による交通渋滞と踏切事故、さらには地域分断を解消することを目的として進めてきました。高架化することにより事業区間８箇所の踏切が廃止されます。また今後は、交差道路及び側道を整備し、令和８年度に事業を完了する予定です。

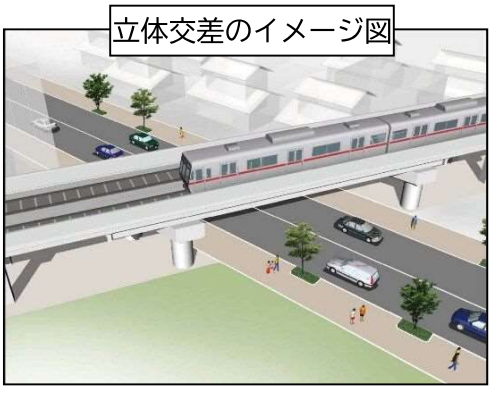
※「緊急輸送道路」とは、災害時に緊急車両の通行を確保すべき重要な路線のこと。

事業箇所	守山区小幡南二丁目～大森二丁目
事業延長	１，９０７ｍ
事業期間	平成１１年度～令和８年度

２　下り線（尾張瀬戸方面）高架切替の概要

高架運行開始予定：
令和７年７月２６日（土）始発列車から
（当日悪天候等の場合は延期することがあります。）
※喜多山駅の出入口及び改札位置が変更となりますので、現地の案内板に従いご利用願います。

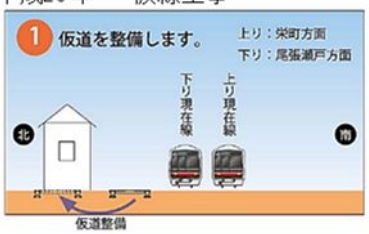
立体交差のイメージ図



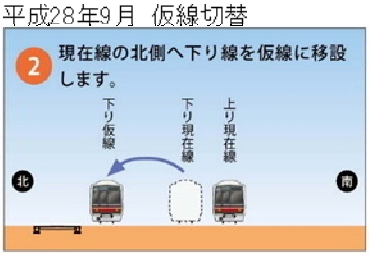
3　事業の経過及び今後の予定

・平成１２年３月　３日：都市計画事業認可取得（事業着手・用地取得開始）
・平成２６年度　　：工事着手
・平成２８年９月１７日：下り（尾張瀬戸方面）仮線切替
・平成３０年３月１７日：上り（栄町方面）仮線切替
・令和　４年３月１９日：上り（栄町方面）高架切替
・令和　７年７月２６日：下り（尾張瀬戸方面）高架切替（予定）
・令和　８年度　　：事業完了（予定）

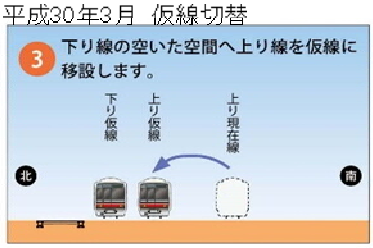
平成26年～　仮線工事



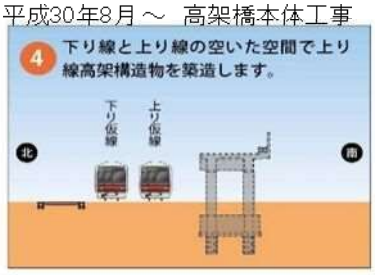
平成28年9月　仮線切替



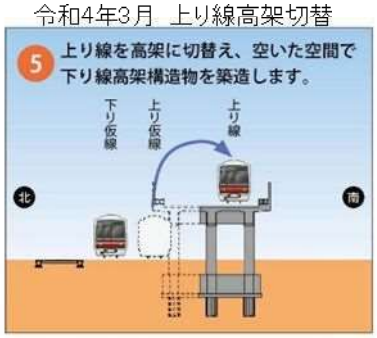
平成30年3月　仮線切替



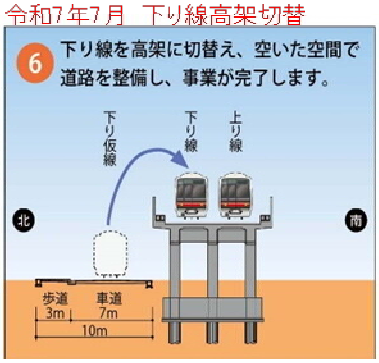
平成30年8月～　高架橋本体工事



令和4年3月　上り線高架切替



令和7年7月　下り線高架切替



4　期待される主な事業効果

・８箇所の踏切が廃止され、平時・災害時とも救急救命活動等に必要な緊急車両の通行がスムーズになります。

・幹線道路の交通が円滑になり、生活道路への入り込み交通が減少します。
（他の立体交差事業では、幹線道路の交通量が３割増加・生活道路の交通量が２割減少）

・駅直近の高架下に自転車駐車場を整備するほか、交差道路及び側道の整備により、駅までのアクセスの向上と駅周辺の環境が改善します。

・喜多山駅がバリアフリー化され、すべての人が使いやすい駅になります。

・鉄道騒音・振動が低減し、周辺の生活環境が改善します。
（他の立体交差事業では、騒音・振動とも約２割減少）

名鉄瀬戸線（小幡駅～大森・金城学院前駅）～完全高架化～

＜一般国道302号及び都市計画道路守山本通線と名古屋鉄道瀬戸線との立体交差事業＞

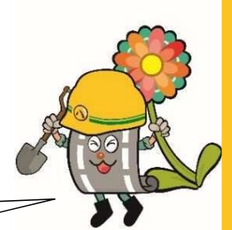
防災機能の強化

災害時等の踏切遮断がなくなる！

8箇所の踏切が廃止され、平時・災害時とも救急救命活動等に必要な緊急車両の通行がスムーズに

頑丈な高架橋

大規模地震でも倒壊しない高架橋



道路ネットワークの強化

渋滞でのイライラがなくなる！

自動車交通の円滑化

生活道路への入り込み交通が減少！

踏切が廃止されることにより、幹線道路の交通が円滑になり、生活道路の自動車交通が減少。
（他事例では、幹線道路交通量が3割増加し、生活道路交通量が2割減少）

地域分断の解消

地域が一体化してひとつに

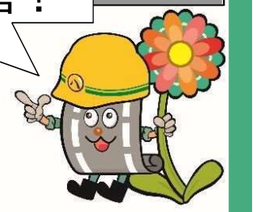
＜完成イメージ＞ 喜多山駅（国道302号）

生活環境が改善

すべての人が使いやすい駅へ

駅施設がバリアフリー化されます。
（駅構内踏切も廃止！）

駅周辺の環境が改善！



鉄道騒音・振動の減少

レール等（軌道施設）を大幅に改良することで、騒音・振動とも減少します。

（他事例では騒音・振動とも約2割減少）